



平成28年 8月15日

2・3面	18歳選挙権
4面	上新井親子ふれあい広場
5面	まつかわ寄席
6面	みんなで仲良く
7面	資料館だより
8面	スポーツ・情報
	ひと・すぼっと
	俳句・子どもの詩
	視点・声・ペンべん草



松川の水瓶（大島・上片桐の水源）
片桐ダム



小渋ダムの下流に完成した4kmにもわたる土砂バイパス

まつかわ百景 ⑨

「ダム開放デー」 (7月30・31日)

なんとなく田んぼを作ってみたいと想い、今年の四月から作り始めた。作りたいたと考えると、昨年の夏頃だったと思うが、改めて田んぼを作るにはどうしたらよいか、田んぼの風景を多く目にする松川町に生まれたのにも関わらず、悲しい事にさっぱりわからなかった。若手農業者の会「若武者」の人達に聞くと、まずは、収穫後の田んぼをおこさなければならぬということ、生まれて初めてトラクターに乗った。全く上手く耕せなかった。あと、その中で話が盛り上がり、私の初めての田んぼ作りをチャンネルYOUで番組にしようという話になった。(先日放送された若武者TV)

そして春になり、もみ蒔きをし、代掻きをした。代掻きも上手くいかず、結局知人に仕上げをしてもらった。田んぼは、手で植えてみたかと思いきや、人に相談したところ、田植定規という昔ながらの道具があることを教えてもらい、手伝ってもらって作った。そして、田植え当日、この日も多くの方に協力いただき、

主張

田んぼ

何とか終える事ができた。何とか終える事ができた。手植えと田植機（八条植）のスピードの差に驚いた。と、ここまで多くの方に手伝っていただいている、もはや自分で田んぼを作っていると胸を張って言えない状況であるが、なんとか稲は今のところすくすく育っている。この後、どんな作業が必要なのかまだ分かっていないが、無事に収穫を迎えたい。そして、協力して頂いた全員で文字通りの「収穫祭」を楽しみたい。田んぼ作りを通じて「行為に先立つ意味はない」という言葉を思い出した。知らなかった事を知ること、今まで自分が見ている世界に新たな意味が加わるのだということを実感出来たような気がした。とても新鮮な感覚だった。田んぼを作るといふことは、経済的な視点でみると全く採算が合わないのだからということも実感したが、それ以上の意味があるのだからと思う。来年、再来年と、田んぼ作りを続けていきたいし、田んぼのある風景がこの先もずっと残って欲しい。

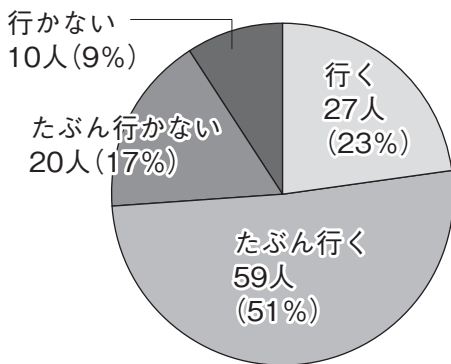
若武者TV 大澤慎哉

18歳からの 選挙権

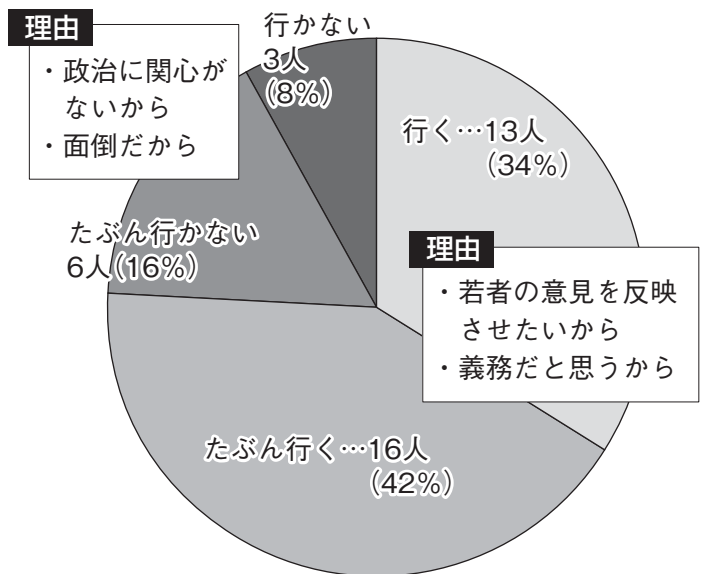


公職選挙法等の一部改正により、18歳以上の皆さんも選挙権を持つようになりました。松川高校で行われた「18歳選挙権に関するアンケート」の中から一部をご紹介します。

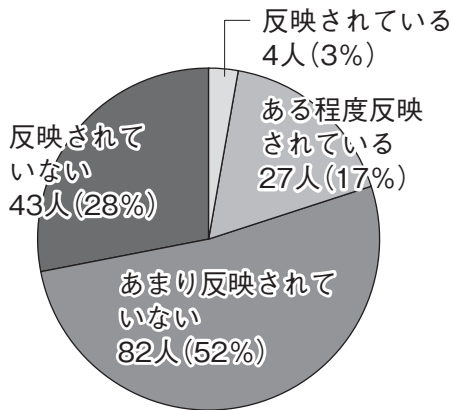
●7月11日時点で、満18歳になっていない方、選挙権が得られたら、各選挙に行きますか？



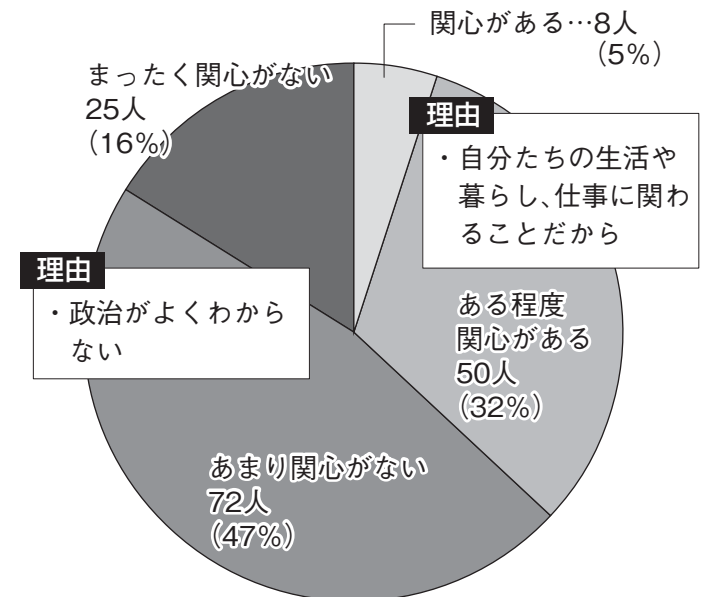
●7月11日時点で、満18歳になっている方、参院選は投票に行きますか？



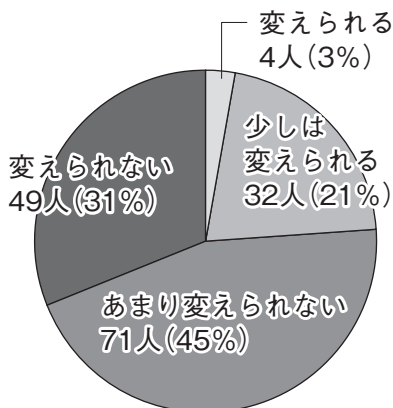
●若者の意見が国や自治体の政策に反映されていると思いますか？



●政治に関心がありますか？



●自分が社会参加することで社会が変われると思いますか？



投票所って どんなところ？

選挙権があっても、「投票ってどうすればいいの?」「投票所ってどんなところ?」など、初めての投票は緊張するもの。また、今回初めて投票に行った若者の中にも、会場の受付へ記入する投票の流れがわかりにくく、表示や案内などがあればよいと感じた人もいました。はじめの一步をふみ出すために、ここに少しだけ会場の様子を紹介します。実際には受付の人などがいて、配置は会場ごとにちがいますが、道具等は共通しています。



受付～発券



記載台 ここで候補者名を記入



投票!!

未成年の方お二人にお聞きしました

投票前の気持ち

Aさん

社会人になったばかりで覚えなければいけないこと、わからないことが多く政治について考えられる余裕が少ない。もう少し余裕ができて周りが見える頃(20歳くらい)に選挙権が与えられてもいいように思う。

Bさん

世の中の動きはスマホのニュース等で見るようにしている。若者が政治に参加して意見が反映されることはいいことだと思う。

Q率直な感想は？

Aさん 投票前と変わらない

Bさん 緊張した

Q投票所の雰囲気は？

Aさん 静かだった

Bさん 重い雰囲気だった

Q投票日に投票所へ行くとしたら、どんな服装で行こうと思いますか？(選挙に対する心構え)

Aさん 普段と変わらない服装

Bさん 仕事(事務職)に行くような服装

選挙後

Q選挙に行きましたか？

Aさん 期日前投票へ行った

Bさん 期日前投票へ行った

Qどんな気持ちで投票しましたか？

Aさん 誰に投票したらどうなるのかがイマイチわからない。とにかく1票を入れた

Bさん 自分の1票で何か変わるのかなあ?という気持ちで投票した

上新井親子ふれあい広場

上新井地区公民館

上新井地区公民館と上新井育成会では、毎年、あらいの祇園祭りの日にあわせ、親子で楽しめる催し物を行っています。数年前までは上新井人形劇公演として、双葉保育園の保育士さんのサークルかくれんぼさんに人形劇を行っていただき、大勢の親子に楽しんでいただきました。



最近、人形劇以外にも親子で楽しめることをしようということになり、高校生による戦隊ヒーローショーやけん玉名人による親子けん玉体験などを行ってきました。



今年からは、「上新井人形劇公演」から「親子ふれあいひろば」に名称を変更し実施することとなりました。

第1回目の今年は笛師九兵衛（ふえしきゆうべい）さんを招き、面白い笛や楽器、手作りの装置を使ったコンサートをしていたり、100名近い親子に参加していただきました。口ではなく、鼻で吹いたり、普通の人参や竹輪をその場で笛にして吹いたりするなど、

約1時間のコンサートでしたが、子どもたちは九兵衛さんの演奏に釘付けとなり、音楽に合わせて体を動かしたり、踊ったりして、親子で楽しい時間を過ごすことができました。

上新井地区公民館と上新井育成会では、これからも親子で楽しめる催し物を計画して、地区の親睦を図っていききたいと思えます。



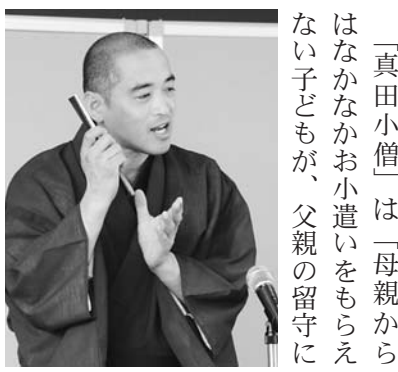
まづかわ寄席

可風師匠の噺に 心から堪能

「わっはっは！」落語を聞きに来られた方々が噺に引き込まれ、あつという間に時間が過ぎてしまいました。

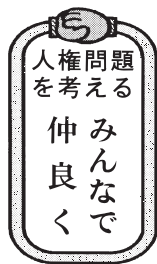
6月25日（土）に新進気鋭の三笑亭可風（かふう）師匠をお迎えし、「まづかわ寄席」が行われました。可風師匠は一時期小笠原諸島でウミガメの調査を行ったことがあるという経歴の持ち主で、今年の5月に真打への昇進を果たしたばかりの落語家（昇進前は可女次）さんです。今後の活躍が大変期待されています。

当日話された落語は「真田小僧」と「竹の水仙」の二題でした。



母親の所に来た男の人と母親のやりとりを巧みに話しながら、父親からお小遣いをせしめ取る」という噺で、師匠の語る「ずるがしこい子ども」の話しぶりに、聞き手もはたしてどのようなことがあったのか、想像をめぐらすそんな噺でした。

もう一つの「竹の水仙」は、天下の名工として名高い左甚五郎が作った竹の水仙の話で旅籠に宿をとった甚五郎は、朝から酒を飲んで管を巻いているだけで宿代を払おうとしない。たまりかねた主人に追いついて喰うが、裏庭から竹を取ってこさせ、数日自分の部屋に立てこもって見事な水仙を仕上げた。三日三晩水を替えると、竹でできた水仙の蕾が開いたかと思うと、たちまち見事な花を咲かせたから一同仰天。宿の軒先に置かれた竹の水仙の花は、通りかかった長州の毛利公に100両という大金で買い求められた。後に上野の寛永寺に「昇り竜」を作り、後世に残る名人の名をほしいままにした左甚五郎伝説の一説を心から楽しみました。



親切

中央小4年 新田 悠楽

わたしは、親切にしてもらったことがいっぱいあります。でも、自分から親切にしてあげたのは自分では、あまり感じません。

親切にしてもらったことで、わたしが一番これがいい、と思ったことは二つあります。

一つ目は、20分休みに体育館で遊んでいる時のことです。ボールがなかったため、一輪車で遊ぼうと思ったとき、みきちやさんが、ボールをかしてきてくれてうれしかったです。

二つ目は、先生がいない時に歯がぬけた時のことです。ティッシュがなかったため、日和ちゃんに「ティッシュかしてくれませんか？」と言ったら、「いいよ。」と言ってくれました。

次は、わたしが親切にしてあげた事です。

だけど、最初に書いてあるとおり、わたしは、親切にしてあげたのかそれとも親切にしてあげてないのかわかりません。1つ目は、えんぴつやけし

ごむを拾ってあげたことです。自分はこれだけだと思っています。

親切にしてくれるとうれしいし、親切にしてあげると、「ありがとう。」

と言ってくれるからうれしいです。

「親切」とはとってもうれしい字です。

小さな親切

中央小4年 大澤 かいえん

ぼくは、小さな親切はやってもらうと、とてもうれしいです。今までに、いろいろなうれしかったけいけんがあります。

一つ目は、ぼくが消しゴムを落とした時、となりの席の人がすぐに拾ってくれたからです。とてもうれしかったです。

二つ目は、ぼくが算数の時に、分からなかった所を班の人たちが教えてくれたからです。今度は、ぼくが教えたいと思います。

三つ目は、かばんのじゅんぴの時に、ひかる君が、かばんを持ってきてくれたからです。その時ぼくは「ありがたいなあ。」と思いました。

このように、ぼくは、小さな親切は、やってもらうとうれしいので、これからは、自分から小さな親切をできるようにがんばっていききたいと思います。

松川町今昔

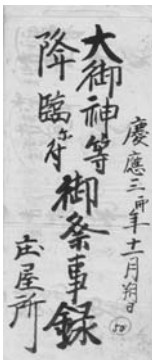
資料館だより

第3回 ◆ 「松川町の御札降り」

今から150年ほど前の江戸時代の終わりの慶応3年（1867）に、空から神社などの御札が降るということが各地で起こりました。一番早いのは、尾張国吉田宿（豊橋市）

で、7月でした。それから東海道を東西に向かって広がっていききました。御札が降ると人々は喜んで御札を飾って、近所の人々を招いてお祝いをしました。

関西方面では人々が集まって「ええじゃないか」とはやし立てながら踊り歩きました。飯田の町に御札が降ったのは、9月下旬のことでした。それから飯田下伊那各地に広がっていききました。松川町に御札が降ったのは、10月下旬ころだったようです。御札の降ったことを直接記録した古文書はありませんが、大洲七楯神社の古文書の中に、11月1日と2日に村の人々が集まってお祭りをしたことが



わかる古文書があります。

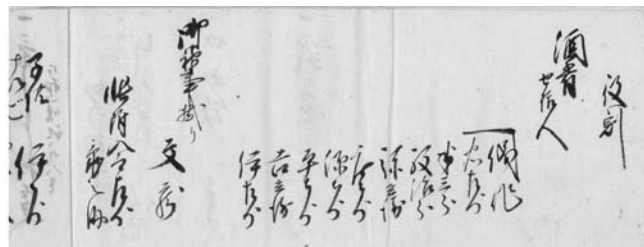
大人だけでなく子どもたちも集まったことがわかります。

祭りの日に出された酒は3人が御神酒として13本、それだけでは足りず、御札の降った家4軒から10本出しています。

さらに11本、計34本飲み、不足分はみんなで割って出し合うことになりました。2日間いろいろなものが消費されています。餅米・白米・俵・縄・紙・ろうそく・神主宿泊料などです。また蕨を45枚も借りています。

役割分担もしていて、酒肴世話人・神事掛り・帳付け・子供警護・酒のかん掛りやその他の掛りがありました。

集まった家数は11月1日・2日ともにおよそ100軒です。家族も出かけていると考えられますので、かなりの人数が集まり、毎年の例祭に劣らない賑わいだったことでしょう。各家では酒肴・徳利・盃・薪を持



ち寄りました

こうした祭りの必要経費は後から計算して、家々に割り当てられました。

松川では御祭りをしたことしかわかりませんが、飯田町では何日にもわたって町のあちこちで人々が集まって踊り歩きました。飯田では「ええじゃないか」ではなくて「おかげでちよいとせ」とはやし立てていたようです。初めは御練祭りのように秩序を持って踊っていましたが、そのうちにだんだん乱れて、家の中に履物を履いたままのり込んでしまいました。男が女の支度をしたり、女が男の支度をしたり、日常から解放されて発散したのでした。7月に始まった狂喜は年が変わるころには収まりました。その間に大政奉還・王政復古と進み、年明けには薩長を中心とした新政府軍と幕府軍との間で、鳥羽伏見の戦いが始まったのです。時代は雪崩をうつように動いていきました。

松川町資料館 伊坪 達郎

町制施行60周年記念 第2回南信州まつかわ

ハーフマラソン大会

松川町内を1周する高低差250mの段丘コースをランナーが駆け抜けます。

みなさんの応援、また交通規制等へのご協力をよろしくお願いします。

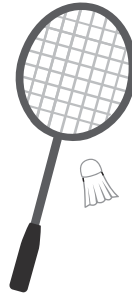
9月11日(日)
9:00スタート

Bリーグ
優勝 SOX (笑)
準優勝 YDK

Aリーグ
優勝 福与A
準優勝 福与B

6月19日(日)に町民体育館で第4回松川町団体バドミントン大会が開催されました。参加8チーム。結果は次のとおり。

第4回松川町団体バドミントン大会



地域を知る講座 第2回

狼煙体験

戦国武将武田氏の情報伝達ネットワークを体験しよう

- ・上下伊那の20か所以上の市町村・地区が参加します。
- ・郡南部で打ち上げ、郡内、上伊那へとつなげていきます。
- ・武田氏の狼煙による情報伝達を体験します。
- ・誰でも簡単にあげることが出来ます。(材料は用意します)

日時：9月3日(土) 9:00～
(雨天の場合は、4日(日))

講師：酒井幸則氏
(グループ時の旅人)

- ・狼煙体験を希望される方は、8月31日(水)までに中央公民館へお申し込みください。
- ・狼煙見学を希望される方のお申し込みは必要ありません。9:45までにお出かけください。
- ・雨天順延、中止の場合は、チャンネル・ユーで7時頃連絡いたします。

昨年は、下條村極楽峠、飯田市山本城山・三穂水晶山、高森町吉田古城、中川村陣馬形などの狼煙を確認できました。今年も多くの狼煙を確認できるのではないかと思います。

お申込み・お問合せ先
松川町中央公民館 電話36-2633

タニタの健康セミナー

平成28年度まつかわ大学第11期 第2講座

～タニタ食堂に学ぶ 500kcalの まんぷく定食のコツ～

ヘルシーメニューで大人気！ベストセラー「体脂肪計タニタの社員食堂」(大和書房刊)の編集に携わった龍口知子さんの講演会です。



タニタが考える健康づくりのヒントや、話題となっているタニタ食堂で提供している献立作りのコツや実践のテクニックをお伝えします。また外食やコンビニエンスストアの活用術についてもお話しいたします!!

9月3日(土) 開場 12:45
開演 13:00～15:00 (演奏を含む)
松川町民体育館 トレーニングルーム

♪ オープニングに、松川吹奏楽団による演奏があります 松川町制60周年

講師：龍口知子氏(株タニタヘルスリンク 管理栄養士)

下伊那郡高森町出身。管理栄養士・健康運動指導士、介護支援専門員、介護予防運動指導員。食品会社、総合病院、介護関連企業を経て、現在は株タニタヘルスリンクにて、メタボ対策の特定保健指導、法定外のダイエットサポートを行う専門職部門の責任者、特定保健指導統括責任者として、健康支援サービスの業務管理および健康支援を行っている。また、全国の自治体、企業、健康保険組合にて健康講座、料理セミナーなど、累計500件以上の講演を担当している。

まつかわ大学第11期生&高校生以下は、**入場無料**

一般の方は聴講料 **500円** ※事前申込みにご協力ください。
電話またはFAXにて、9月2日(金)17:00まで

*託児をご希望の方は、電話またはFAXにて
8月26日(金)までにお申し込みください。

まつかわ大学運営委員会(申込み・問合せ 中央公民館: ☎/FAX 36-2633)

まつかわ大学とは。。。「自ら学ぶ意欲をもって参加し、多方面にわたる知識を身につけ、生涯にわたって豊かな生活が営める」ことを目的に「まつかわ大学」が開講され11年目を迎えます。この機会にぜひご参加くださいませ。



毎月第3日曜日は 家族ふれあう 「家庭の日」



「今」も100年後の歴史となる 伊坪達郎さん(松川町資料館職員)

この館報まつかわのコーナーのひとつ「松川町今昔」資料館だより」を執筆されている伊坪達郎さん。飯田市にお住まいで、今年の6月から松川町資料館の職員として勤務されています。



伊坪さんは、38年間小中学校の教員を勤め、上郷小学校の校長を最後に退職されました。その後、飯田市歴史研究所に5年間勤務され、現在に至っています。教員時代から古文書

を読んだりそれを研究したり、人に話したり、本を書いたり、論文にまとめたりと、「史料」に関わってこられました。そして飯田市歴史研究所ではさらに専門的に研究などをされてきました。

松川町資料館では、保存されている資料を整理して今後引き継がれていけるようにと作業されています。「松川町今昔」では、そうした資料の整理中に見つけたものなどを元に「知っているようで知らない松川町の歴史」を町民の皆さんの身近なものにしてもらいたいと書かれています。

伊坪さんは「資料、文化財などは、古いものは貴重なものとして扱われるが、新しいものでも、100年、200年先には今の歴史を語るものとなることから、そういつたものにも目を光らせて守っていききたい」と語ります。そのため、家を建て替えるときなどに出てきた価値のわからないものなど、すぐに捨ててしまふのではなく、まず資料館に相談してほしいということ。残すべきものか、処分してよいものか、その仕分けをしつかり行っている市町村は全国的には少なく、「仕分けは『ずく』のいる仕事だが、残すべきものは残したい」とおっしゃっていました。

すぽっと 暮らしの知識を学ぶ講座 アウトドア体験講座 「Let's 流しそうめん」

皆さんは流しそうめんを体験したことがありますか？去る7月16日、パパも親子で参加をサブタイトルとして、「Let's 流しそうめん」を松川青年の家で開催。参加者は、2組の親子計7名とボランティアスタッフとして大人が1名、中学生が6名。講師の地域起こし協力隊八代寛司さんと事務局を入れると、計16名の所帯となりました。

当日は伐ってきた竹をまつぶたつに割るところから始まりました。刃物を使うので、見ている側も少しドキドキ。ボランティアも含め、3グループが、時には微笑ましく、時には大胆に、

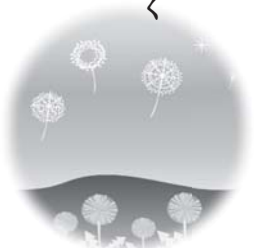
竹をまつぶたつに割って節を抜いていきました。親子の参加者は、竹の切れ端を使って、めんつゆの入れ物や箸をつくりました。中学生スタッフは、八代さんの指導の下、全長約9mの流しそうめんの装置？を完成させました。親子が協力して竹仕事をやる姿や、中学生が慣れない作業をする姿は、微笑ましいものがありました。薪でそうめんを茹で、一方で装置にホースを固定し、水を流して準備万端。竹のお椀につゆを入れ、箸を持って流れてくるそうめんを待ちます。流水にそうめんを少しずつ投入し、流しそうめんの開始！



俳句

米山 護 (中央一)

アスファルト水面のように炎えり
病葉のメロデーに乗り刻移る
たんぼぼの祭山里を越えてゆく
名利や尾のなき蜥蜴走りけり
螢火に浮び上りし生命線



音がくぐ

音がくぐでがんばったつと
中央小2年 こじまみなみ
わたしは、音がくぐでつたをがんばりました。

音がくぐ
中央小2年 武井 真悠
今日、学校の音がくぐがありました。体いくかんの前にきたとたん、おおぜいの人がいだったのでびっくりしました。

つたつたつたは「青い空に絵をかこう」です。わたしは、れんしゅうのとき大きな声を出せけれど、音がくぐのときはもつと大きな声を出せませんでした。台ぞうは「山のポルカ」です。わたしはカスワネットをやりました。けんばんとカスワネットとタンバリンを合わせるのがむずかしかったです。でも、本ばんはとても
上手にできました。とてもうれしかったです。

視点 今月の公民館

職員が執務する事務室。
内装も順調に仕上がっています。



声

夏季スポーツ大会・ 納涼区民の集い

部奈地区公民館

夏季スポーツ大会に参加して

林 初恵

梅雨晴れの好天の下、部奈区恒例の夏季スポーツ大会が行われ、親子で参加しました。下は4歳の園児から、上はお孫さんのいらつしやる方で、幅広い年齢層で自治会対抗のペタンクを楽しみました。体を動かすことは得意なつもりですが、ペタンクは3度目。握り拳ほどの大きさの鉄球を、いかに目標に近付

夏季スポーツ大会と納涼区民の集い

唐沢賢史

けて止めるのが難しく、コート内のわずかな凹凸や、力加減に苦戦しました。私の自治会は昨年の最下位から一転、優勝することができました。おかげで、引き続き行われた納涼区民の集いで一杯は格別でした。部奈という狭い地区内に

ながら、普段はなかなか顔を合わせることができない方々とも、この日は久しぶりに顔を合わせる事ができ、話も盛り上がりました。今後とも体が許す限り参加して、地域の方々との親睦を図りたいと思っています。

夏季スポーツ大会の1週間前に週間天気予報で日曜日は雨との予報でしたが、当日は天候にも恵まれ、開催ができました。とても暑い中でしたが多くの方々が参加してくれました。競技は、年配の方はマレットゴルフ、子どもと大人はペタンクを行いました。第1常会から第4常会まで部奈はありますので、各常会対抗戦でやりました。自分はペタンクの審判でやってみました。暑い中参加していただいた方々は、とても楽しんで競技をやっていました。優勝は第4常会が今年になりました。スポーツ大会の後、慰労会という事で納涼区民の集いを行い、焼肉しました。こちらも多く参加がありました。



おとこ草

諏訪湖一周歩いてみました。数年前に一度チャレンジしたのですが、歩き始めてから少ししたところでどしゃ降りになり、あえなく断念、今回リベンジとなりました。曇空の中、歩き始める、遠くに富士山に似た山が：こんなにはつきりわかるものなのか？と思いつきながら歩いていると山の案内看板があり、方向的に富士山と書いてありました。一周16km、ポイントとなる地点から1km、2kmといった案内板がところどころにあり、「まだそれだけ」、広い諏訪湖を見れば反対側がゴールだとわかるので先は遠いと思いつきながら歩きました。同じようにウォーキングしている人、クラブ活動している学生、湖畔の公園でんびり休んでいる人、飯伊にもこういう所があればいいなと感じました。ゴール直前で雨が少しづつ降り始め、ゴールして車に乗った時点で本格的な雨になりギリギリセーフでした。2回ほど休憩して約3時間半、疲れはそれほど感じませんでした。案内板には一周すると消費カロリーはおにぎり4個分とのこと！頑張ってお歩いてもらったそれだけ！帰りにお肉やアイスを食べたりセツトというよりオーバー。でも、一周歩くことができた達成感、富士山（と思われる）も見れて満足できました。今度はゴールした後足湯にでも入ってようかなと、またチャレンジしてみたいと思っています。

宮崎亜希子

公民館報

「まつかわ」

第 634 号

平成28年8月15日

発行所 松川町公民館

責任者 小 沢 誠

編集人 公民館編集部

Tel 36-2633

e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。